

加美町長 猪股洋文 様

中新田地区商店街活性化拠点施設整備
に関する提案書

中新田地区商店街活性化拠点整備推進委員会

平成31年3月4日

【提案にあたって】

私たち中新田地区商店街活性化拠点整備推進委員会は、推進委員会の設置以来、町民の立場から、中新田地区中心商店街の活性化を目的として、域内の活動人口、関係人口、交流人口を増大させる施設の整備について協議を重ねてまいりました。その中で、県外の先進事例を視察し、古い建物を生かした町づくりや新しく開発された町づくりを学ぶことができました。今回、視察で訪れた施設は、私たちが考える拠点施設と規模は異なっておりましたが、中新田でも取り入れたいところもあり、多くの可能性があることを感じてきました。

全国の商店街では、郊外の大型店進出や高齢化、後継者不足等により商業機能が衰退し空き店舗が増えている状況です。中新田も例外ではなく何もしなければ、いずれ中心商店街から商店が無くなり、空き店舗ばかりが増えていくことが予想されます。それに伴い、買い物弱者に対しての柔軟な対応が出来かねる状況になって行くと思われます。中心商店街を維持していくには、そこで生業を営む事業者だけでなく、住民や行政、商工会、各種団体などが、今後の見通しや課題を共有し、買物等、生活サービスの提供を続けて行くための対策が必要であると実感しています。

私たちは様々な立場の目線から商店街を見直し、人を集客するだけでなく、集客した際にどのような課題が生まれるか、商店街活性化の拠点として本当に必要とする機能は何なのかについて考え、この提案書にまとめさせていただきました。

この提案が、中心商店街活性化の一助となることを期待しております。また、私たち中新田地区商店街活性化拠点整備推進委員会委員も提案するだけでなく、中新田地区を明るい未来に進展できるよう、一住民として、その実現に向けて一緒に力を尽くしていく事を申し添えます。

中新田地区商店街活性化拠点整備推進委員会（順不同）

<推進委員会委員>

高 橋 庸 介（委員長・中新田地区商店街にぎわいづくり委員会）、
森 哲 子（副委員長・（協）花楽小路商店街振興会）
諸 岡 則 子（委員・西町商和会）
金 村 文 彦（委員・中央通り商店会）
伊 藤 忠 勝（委員・岡町商振会）
中 島 昭（委員・並柳南光商店会）
味上 庄一郎（委員・南町まちづくり協議会）
石 川 孝 之（委員・新丁商店会）
高 橋 聡 輔（委員・加美商工会青年部中新田支部）
高 橋 泰 夫（委員・加美町区長会中新田支部）
菅 原 尚 孝（委員・加美町子ども・子育て会議）
高 橋 洋 子（委員・中新田老壮会）
大 崎 能 正（委員・加美町社会教育委員会議）
鎌 田 良 一（委員・加美町観光まちづくり協会）

<政策アドバイザー>

風 見 正 三（宮城大学 事業構想学群長 教授）

<オブザーバー>

渋谷 寿 行（加美商工会 事務局長）

【検討内容】

1. 中新田地区商店街拠点施設の内容及び使用に関すること

＜整備内容（機能）、使用（利用の仕方）として求めるもの＞

中新田地区中心商店街（西町、十日市、南町）が、お祭りやイベントの開催時のみならず、常に人々が集まるような賑わいを創出するためにはどのような機能を持った施設が良いか、平成27年度、平成28年度に中新田地区商店街活性化検討委員会から報告書が提出されました。本委員会では、その後町が提案した6つの機能を入れた拠点施設の考えをゼロベースとして検討いたしました。

委員から出された意見は多岐にわたり、中には相反するような意見もありました。現在において、高齢化や後継者の問題から、これからの商店街に対してマイナスのイメージしか湧いてこないが、それをプラスに転じるためにはどういった方策が必要なのかという事を協議した結果、新たな公共空間の整備や空き店舗対策が不可欠な手法であるとの結論に至りました。

当推進委員会委員での意見やアンケート等から、中新田地区商店街の拠点施設に、必要と思われる機能を次ページのとおりに提案（①から⑭まで必要と思われる順に掲載）いたします。

これらを参考に、商店街周辺への賑わいの起点となる機能を導入し、毎日でも訪れたくなるような、中新田地区の特色（伝統的な町屋、土蔵造りなど）を生かした施設の整備を要望します。

《中新田地区商店街活性化拠点施設に必要と思われる機能》

☆☆☆総合案内所（案内・情報発信等）

☆☆ミーティングルーム（集会所、貸館）

☆☆飲食（カフェ、休憩場）

☆☆下屋・アーケード・東屋（休憩場、イベント、バーベキュー等）

☆☆屋外イベント広場（フリーマーケット、ステージ発表等）

☆トイレ（屋内、屋外）

☆多目的ホール（コンサート、セミナー等）

◇展示室（企画展示等）

◇物販（お土産販売）

◇授乳室・オムツ替スペース・子どもの遊び場等

◇駐車場

◇公園（芝生広場）

◇店舗（貸店舗）

◇その他（初午まつり虎舞の常設展示、銭湯）

※アンケート調査 集計結果より（P 14 参照）

2. 拠点施設の企画運営についての提案に関すること

＜施設の管理、運営について＞

（１）施設管理について

拠点施設の整備を予定している「やません跡地」は、加美町唯一の公共交通機関である宮城交通バスや住民バスの西町停留所の近くに位置し、中新田だけでなく加美町のゲートウェイとしての機能が必要であると考えます。

管理運営は、加美町観光まちづくり協会や、加美町振興公社などの公の機関などと協議を行い、委託または指定管理者を行なってもらうのが良いと考えます。

そこに訪れた方に対し町の顔として、ニーズに合わせた案内や常に新しい情報の発信が出来ると思います。

また、管理者が不在の場合は、地元商店や拠点施設を多く利用していただく団体に協力を依頼し、施設の管理（鍵の開閉など）を行うことで、利用しやすい環境づくりが可能になると考えます。

公の機関だけでなく、町民や地元商店会、加美町観光まちづくり協会会員などの協力をいただくことで協働や連携が生まれ、地域に既にある歴史・文化・特産物などの資源を活用したイベントの開催など、「いつも何かが行われている商店街」として、来街意欲の向上が図られると考えます。

（２）企画運営について

以前のように商店街の人たちの力だけで町を盛り上げていくのは難しい状況であることから、外部の方や町外の方も含め、住民が力を発揮しやすい柔軟な施設運営が必要と考えます。

施設を活用した様々な企画やイベントを開催するため、管理者だけでなく、施設のお助け隊や協力者など多様な人材を募集し、ボランティア的な組織をつくり、色んな知恵、力を借りて、施設の有効利用を図るための仕組みづくりをすべきと提案します。

3. その他、中新田地区商店街の活性化に必要と認める事項に関すること。

一番の問題は後継者不足だと思います。観光客を呼び込むよりも、若い人も高齢者も住みたくなるような町づくりが大切だと思います。
町内外から来た人達が気軽に立ち寄れるような施設、お茶が飲める（カフェ）又地区の集会が出来る又案内情報発信所、お祭りイベント、フリーマーケット等が出来るような所、自動販売機を置いてドリンク等が自由に飲める機能があればよいと思います。また、町内を歩いて各商店で特徴ある商品を展示しておき販売につなぎ楽しく散策できるようにする。
町と他のイベントを一体として、客を呼ぶセミナーとか他のもの色々
A I 化にまかせるところはまかせて、ここにしかない“物語”をうちだす。なければつくみましょう。
今ある中新田商店街の良さを活かしつつ人を呼び込むためには・・・地酒の三蔵元がある 良質の日本酒は全国レベルで人気。近隣にあゆの里公園運動場があり、週末には町外からも来場者が多い。人気のやくらいリゾートへの通過点として何かアピールできれば。この点を活かすために地酒活性メニューのあるカフェは？
中新田では季節ごとのイベントや、花樂市などが中心商店街で開かれています。その度に各商店は個店の PR がなかなかできていないように思います。それぞれの店の魅力を来場者に伝えられないのではイベントの時だけの賑わいに終わり、更にイベント運営の疲労感だけが残し、活性化に繋がって行かないのではないのでしょうか。既存店の強みや魅力を磨く事、更に魅力的な新しい店を増やすことで人や情報の往来が増えると思います。興味のある人や何かやってみたいと思っている人たちとの橋渡しや繋がりを創れるコミュニティーが必要ではないのでしょうか。 空き店舗や空きスペースの活用で新しい人の流れをつくり常に魅力発信や交流が行える拠点があると良いと思います。店舗の絶対数やバラエティ度、そこに住む人々の魅力が商店街の魅力と賑わいにつながるのではないのでしょうか。価格・品揃えなど量販店やコンビニ等にはかないませんので、公共性のある施設の誘致など。以上具体策ではありませんが。
町民が集まる拠点であれば、町外の人にも集まってくると思います。年間（もしくは月間スケジュールを立て）を通じて、催し等の企画を考えてみてはどうかと思います。
・ 駐車場から商店街に行きやすいように工夫する。（役場駐車場） ・ 加美町名物が食べられる（加美町に来たらこれが食べたい！というもの。もしくは新しく名物を作る。食べながら歩けるような手軽なもの） ・ 車が止めやすく美味しいものが食べられて、見る（体験する）ものがあれば中新田の中央にも集まってくると思います。「手軽に」来れて「手軽に食べられる」という部分がポイントかも。
火伏の虎舞を核としたまちづくりが良いと思う。
加美町カレンダーにある様な、町の自然、特産の時期に合ったイベントを行う。この時期に加美町に行けば、何が買えるというように明確化（購買者の意識）をつけてもらえるようなイベントを行う。また、自主的にイベントを行いたい人にある一定のルールを決めて誰もがイベントを行なえるようにしていく。公民館の建て替え、陶芸の里スポーツ公園の改修、カヌー場（オリパラ関連）改修など、今後費用のかかる事業が多いため建設費をおさえた有効に使えるものとする事を望みます。

〔参考資料〕

I. 推進委員会での意見

“拠点施設の整備内容（機能）、使途（利用の仕方）について”

1. 外から人を引っ張るための施設（この町に住む人たちが暮らしやすい、生活が楽しめるようなところ。町の人を楽しんで喜んで暮らして行けば、自然と外から人も来やすいのではないか）
2. 役場の機能が部分的にあってもよい。（人が動きやすい部分ではある程度そういう機能があってもよい。）
3. 地区全体の商店会の会員にアンケートをとってはどうか。（もう少し変わった何かの案をつくってこのまちづくりを進めたらどうか。）
4. 何らかの公的施設が許されていた方が管理面とか人が集まるのには有効。（子育て支援とか、お母さん達が集まってきてくれればいい。経費節減のために改めてそこに誰かが来て人を雇って管理するよりずっといい。）
5. 町民が楽しめるように使ってそこを有意義に使えるような施設。
6. 物販はお祭りとイベントなんかの時に出来ればいい
7. 皆が自由に使えるフリースペース。（カルチャー教室や展示）
8. 色んな情報を町民や町外から来た皆さんに発信できるような拠点。（拠点施設がハブになって近くの商店街や離れている商店街にも情報を出して小さな情報拠点が周りに広がって行ったらいい。
9. あまりお金をかけずに部屋というかスペースがあるだけで充分広場があってイベントができるところ。
10. 夷や周辺だけでなく、商店街全体を使ったお祭りの姿が理想。（普段から皆が自由に商売人だけでなく、農家の人や色んな人たちが集まって朝市をやったり、イベントが出来るスペースが望まれている）
11. 地域の人たちが、自分たちが使いたい目的で活用できるような施設。観光まちづくり協会が本庁舎内に入っているのはどうなのか。その部分は考慮しなければならない。
12. 公民館の活用とリンクしてくる部分もあると思う。どのように棲み分けするか考えていかなければいけない。
13. 子育て世代の方々が集まれる場所。（児童館はどうしても子供達だけが集まっているような場所。小さい子供を連れのお母さん達が集まれるような場所。）
14. 室内で遊べる遊び場。（管理に関しては若いお母さん方が1時間、2時間の単位で見守りをするアルバイトという形で運営をしている事例もある）
15. 活性化というところで自由な発想で何でもできるというような建物。（どんな方もここを使って商売ができとか、貸館もできるものが必要）
16. 町民の皆さんが楽しめる場所。例）地区の集会、子育て支援で子供たちが自由に遊びとができるような場所。ちょっとした軽食やお茶を飲める場所。

17. 町に3つの酒蔵があるんだから、PRをちゃんとしたら人を呼べる。(気づいていないこととか、当たり前だと思っていることをもうちょっと認識を深め何かを通じて、それが町民みんなで共有していけたらいい。それが拠点の整備とうまくできればいい。)
18. 加美町中新田に実際にあって誇れるものをもう一回考えて、商店街だけの財産だけでなく中新田地区全体の財産としてアピールできると思う。
19. 菓菜には遠くからいっぱい人が来るので、その流れで中新田に来てもらえる何かがあるといい。拠点の整備は施設をつくることだけでなく、そういうところにも目を向けて看板1つ作って設置するとか。
20. ①観光情報発信機能、②ぼのぼのミュージアム(かみ〜ご含む)、④賑わい創出機能ぐらゐの機能なら、菓菜の帰りに寄って休憩してちょっと町場を見たいという場合も。休憩してちょっとコーヒー飲みながら散策できる。イベントするときは、ちょっとしたスペースを設けておけばそこでやれる。花楽市は雨が降ると大変なので、ちょっと屋根がかかっているところで出品者に出てもらえるようなスペースがあればイベント的には人は呼べる。
21. 日常的に観光客が訪れた時にちょっと寄ってみようかというような施設があれば良い。あんまり地元のこととなると生涯学習とかになっちゃうので、その辺の言葉を出来れば入れない形の方がいろんな面でやっていけるのかな。
22. 観光のルートに乗つけられる様な施設、機能があれば菓菜に人が来ているので、中新田を通るときに寄れるものが無いというのが勿体ない。サービスカウンターとかがあって、まちなかに寄れるようなサインとかあれば違うと思う。
23. 地元の方々や自分たちが使いやすいというのがメインとして求められている。(資料2を見るとかなり違いがある。)
24. 管理の部分で観光まちづくり協会の名前が上がっているが、更には公的な施設が入った方がよいという意見が出ているが、税金の投入の仕方として、一部公的機関が入って運営したほうが良い部分があると思う。
25. 菓菜に来た人を素通りさせるのはもったいない。(観光というか、こんなところだよというのが、地元の人も意外と知らなくて自分たちがそういうところを知って、そのことを誇りに思って楽しむ切掛けになるようなそういう場であっても良い)
26. 機能として役場の機能というのも2、3の方から上がっていました。資料2の中に無かったが、軽い飲食の話も出ました。
27. 飲食に関しては町内にも結構あると思う。そういったところを案内できる出来る機能があればそれで十分という気がする。(自販機を置いて座ってお茶を飲むくらいの機能があれば十分)その他は民間の力を発揮できれば。
28. スペースがあって、そこを多目的で使えるだけの空間があって、それをちょっと鍵を開け閉めしたり、そこで案内できる方がいれば十分。いかに使うかは周りの住民や町民が自由な発想で使えるようであれば。コンサートをやってみたり、なんかの食事会をやってみたり、いろんなことに使える気がする。(あまり立派な建物は必要ないと思う。スペースと情報発信という機能があれば、みんなが自由に楽しく使っていければ面白いことがどんどん生まれてくるんじゃないか。)
29. 拠点は素敵な場所を造ってほしい。インスタ映えするような、若者たちは素敵なおとことか美

美味しいものとか珍しいものがあると集まる。フリーワイファイにして若者が集まる素敵なところを作ったらどうか。

30. そこにいる間に色んな情報が耳に入ってきたり、居心地がいい場所でないと情報だけもらいには行かない気がする。（飲食できたほうがゆっくりして、ただ情報をもらいに行くんじゃなくお茶のみにいくといった感じであれば、他の飲食店にもいい影響を与えるかもしれない。あそこの店美味しいんだよとか言って。）
31. トイレはきれいな方が良いなと思います。ちょっと変わったトイレがあるだけで人が集まってくる。
32. 若い人たちだけでなく年配の方々もカメラを駆使して、中新田の写真を撮りながらフェイスブックとかで発信しているので、中新田から薬菜山がすごく綺麗に撮れるような場所を発信していければ。
33. 最初から何をするという目的じゃなく、こんなことにも使える、こういう場所として利用できるんじゃないかというような柔軟な考えの施設。（そこからどんどん発展し町民のアイデアが生かせるような施設がいいんじゃないか。）
34. 非常にバラつきが大きい。施設の整備についても目的が皆さんそれぞれ違うので、果たして今必要なのか。
35. 薬菜だったら、朝早く薬菜山にいったご飯食べて、お風呂に入って一日が完結できる。中新田に休日に来て、何しようか休日にご飯食べるところがあるかどうかと考えた時に、休日に賑わっていて、ちょっと観光する場所があると良いかな。
36. 加美町は「音楽のまち」というのがアピールできるところ。パッハホールでコンサートとかやっているが、拠点的なものがまちなかにあった時、音楽フェスティバルのようにプロに限らず地域の人とかの演奏会を毎週音楽が聴ける時間があれば、それを一つの目玉にして町民も町外の人でも楽しめるのかな。
37. 商店街では日曜日はほとんどの店が休み。（そこから賑わいづくり、商店街の活性化がどこかで勘違いしていると思う。）拠点を作る場合、ならば商店として商いをする場所、仙台あたりでやっている6か月安い料金で貸して事業をしてもらう場所がいいのでは。（商店街で、とにかく日曜日に店を開けるという方向に持って行くのが一番難しいかなと思う。）
38. 昔の「やません」は、バスの停留所やテレビがあって人が常にいっぱいいたイメージがある。他の店舗に影響を与えるのであれば無いものを考える。無くなってしまったもの、銭湯、映画館とか、バスターミナルのような人が寄りつく場所があって、その建物が昔風の外観で昔の中新田のイメージを表すような空間を創り出せば面白いのかな。（物を売るだけじゃなく、そういうのを提供するような施設は人が集まりやすいのかな。）

“10年後20年後、あの場所が将来どうあったらいいか。”

39. 拠点によそからのお客さんを呼びましょう、賑わいを作りましょうという事になっても、いざ週末にやっているお店が少ないというのが現状。本当に拠点を作ってお客さんが来たら、そのお客をお店に呼ぶのは自分たちの事になる。
40. そこに住居があってそこでお店をやっている世帯が殆ど、多くは店を閉めた段階で店を貸せる

状況でないのが現状。（そこでずっと生活している自分としてはお店が出来なくなって、静かなところに移ってここを貸してと言われるとつらい。）あそこがベッタウンにはなってほしい。

41. 観光を目的に、あの場所に何かイベントの設営場所を作って貸す。よその地区の方にも場所を活用して中新田を盛り上げてほしい。
42. 商工会、商工業者、特に商店街の人たちだけでは高齢化でイベントを維持していく事自体が難しくなっている。それ以外の町民の力をどんどん借りて行かなくちゃいけない世の中になると思う。そのための拠点となるような場所であってほしいと思う。
43. 簡単に元のように賑わいにするには現状では難しい、無いものをどんどん作って行かないと。買い物とか関係なく街に集まってくるようなものとか、それ以外のサービスを提供してくれるような施設がないと、商店街の人達だけの力で町を盛り上げていくのはもう難しい。色んな知恵、力を借りられる様な人達が集まって気軽に使えるよう場所になってほしい。
44. これから大人になる子供たちにアイデアを聞く、或いはどういふうなものがあつたらいいか聞いてみるのも一つの手だと思う。地元の方たちだけで何かそこで商売をするとか、物販をするというのはなかなか難しい時期に来ている。外部、町外のやる気のある若い人が気軽に使えるテナントみたいな感じもひとつ。
45. 観光まちづくり協会さんが役場に間借りしている状況なので、あそこに事務所があつて観光案内ができればいい。あとはイベントするスペースがあれば。（地元商店街の人達の負担にならないようなイベントをする。）
46. 薬菜山のパークゴルフ場とかに足を運ぶ方が年配の方やそういった方と一緒に子供達が来て、ゆっくり寄れる拠点的なものもあつても良い。
47. 伝統的な虎舞のお祭り会場を考えた時に将来的に会場が変わらないと思う。そこをいろんな意味合いで記憶に残したいというのであれば、そういった場所（この辺に昔映画館とかがあつたというのが分かるような所）にしていこうということも一つの案だと思う。
48. 10年度というわけではないが、観光まちづくり協会として来年は視点を変えて中新田地区に滞在できるようなイベントは何かないか考えている。（SNS等を活用した情報発信を参加者ができる、気軽にやれて中新田地区に滞在しながら色んな所を回って情報発信できるようなイベント）そこでネックになってくるのが土日中心のイベントになるので、食べるところが休みになると厳しい。
49. 面白さみたいなものを何か新しく生み出していかねばならないと思う。これまでものすごい歴史があるので色んな手立てを仕向けねばならないと思う。
50. 施設を作るとなると町内の方たちだけでは人口が減っているので頼りない。やっぱり町外から集まってくる何か欲しい。（それが何か分かりませんが、現状ではちょっと夢や希望もない感じ）例えば薬菜山に行く前に寄れるような感じが良い。
51. 一回来たらもういいになってしまうのではなく、町外の人は何度でも来たいと思う、町内に住んでいる人には毎日でも利用したいと思えるような拠点がいいかなと思う。例えば、銭湯だったら毎日でも来てみたいし、他のところからでもあそこだったら行ってみたい、銭湯から上がった後に近くで酒を飲んだり美味しいものを食べたりとか、ちょっとぶらぶらしてみたりとか、そういうふうになると皆回るかなと思う。

52. 拠点づくりの中で、試しに若い人が商売をやるような場所をつくったらどうか。貸し店舗みたいなそういうふうなものをやってみないと、この中新田の商店、特に小売りがだめになる。そこで試しに商売をやった人が、さて中新田のどこかで商売をやりたいなといった時に空き店舗がいっぱい出てくる。
53. どこからか引っ張ってくるような施設があれば。どこにでもあるような施設では面白くないので、防音施設のライブハウスを作ったら面白いのでは。（例えば、仙台のジャズフェスでやるような人が土日練習や演奏に来るような使い方ができる施設）

“拠点施設の管理運営について”

54. 平日は通常は職員さんが管理し、土曜、日曜の職員がいない時は、近くの商店街で鍵を開閉し、貸出をする。
55. 観光まちづくり協会が管理し、道案内とか観光案内出来ればいいのかなと思う。
56. 運営に関しては、いろんな町民の人たちの力を借りればよいと思う。（例えば、施設のお助け隊とか協力者たちを募って、その人たちで色んな企画を練ったりとか、何かやるときは皆が集まってお手伝いをするボランティア的な組織を作った方がよいのでは。）
57. おそらく施設自体は観光まちづくり協会さんが担うかどうかは別にして、一連のスケジュールについて、突発的に入るもの、年間通じたイベントが当然あるでしょうし、何かフリーにそのスペースを使って展示があったり、色んな催し物をやったりとか、そういった管理に適するところがないとやっぱり難しい部分はあると思う。
58. 拠点を整備する場合、観光まちづくり協会が運営を担うというような期待をされ大変有り難いことではあるが、具体的な検討はされていない、今ここで管理を担うという条件に無いという事だけのご理解いただきたい。事務所を間借りしている状況ですので、いずれそこははっきりしなければならぬと思っている。

II. アンケート調査

(1) 視察参加者アンケート調査

ア 調査期間（視察日） 平成30年10月16日（火）

イ 回答数（参加者） 委員9名

ウ 質問事項

Q1 商店街の拠点施設の機能について
（1）中新田商店街に必要と思われる機能について
（2）商店街の拠点施設を整備する際に重要と思われる機能について
Q2 中新田の商店街に拠点施設の建築様式について
Q3 中新田地区中心商店街に人を呼び込むための企画や方法についての提案
Q4 視察をとおして、商店街の拠点施設についての感想やご意見

(1) 商店街活性化拠点整備に関するアンケート調査

ア 調査期間 平成30年12月27日（水）～平成31年1月15日（火）

イ 回答数 委員5名

ウ 質問事項

Q1 商店街の拠点施設の機能について
（1）中新田商店街に必要と思われる機能について
（2）商店街の拠点施設を整備する際に重要と思われる機能について
Q2 中新田の商店街に拠点施設の建築様式について
Q3 中新田地区中心商店街に人を呼び込むための企画や方法についての提案

4 集計結果

別紙のとおり

別紙：集計結果

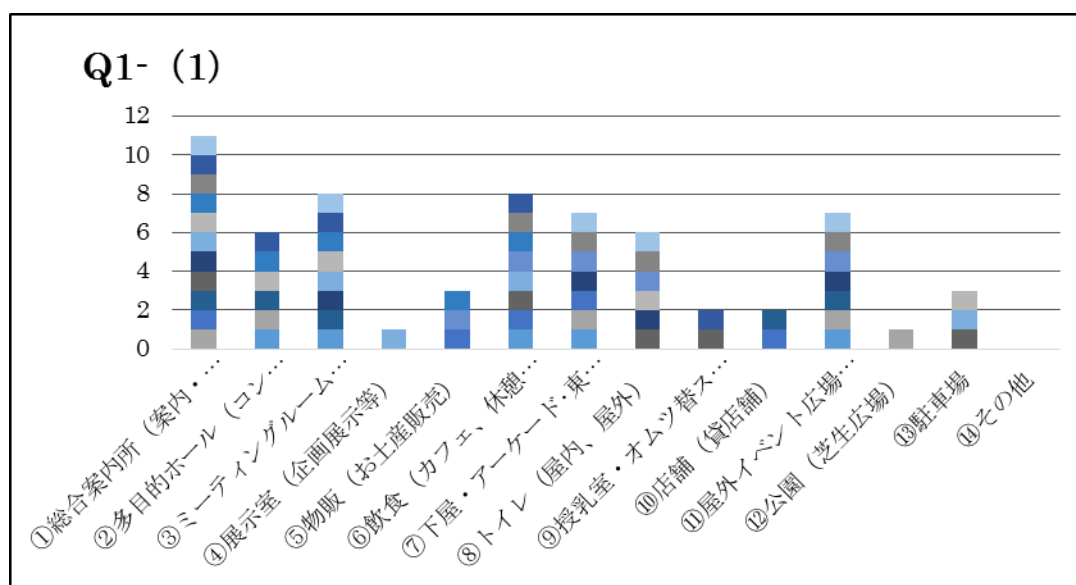
Q 1 商店街の拠点施設の機能について下記の問いにお答えください

- ①総合案内所（案内・情報発信等）
- ②多目的ホール（コンサート、セミナー等）
- ③ミーティングルーム（集会所、貸館）
- ④展示室（企画展示等）
- ⑤物販（お土産販売）
- ⑥飲食（カフェ、休憩場）
- ⑦下屋・アーケード・東屋（休憩場、イベント、バーベキュー等）
- ⑧屋外イベント広場（フリーマーケット、ステージ発表等）
- ⑨トイレ（屋内、屋外）
- ⑩授乳室・オムツ替スペース・子どもの遊び場等
- ⑪店舗（貸店舗）
- ⑫公園（芝生広場）
- ⑬駐車場
- ⑭その他（_____）

※⑭その他の（_____）には①～⑬以外の機能を記載してください。

(1) ①～⑫の中で、中新田商店街に必要と思われる機能を5つ選んでください。

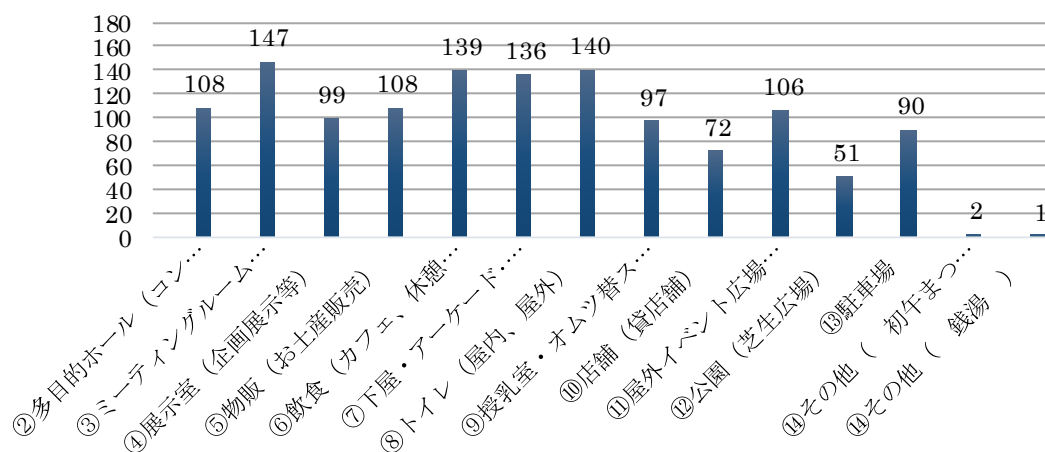
--	--	--	--	--



- (2) ①～⑫の機能で、商店街の拠点施設を整備する際に重要と思われる機能を1から順に並べてください。

1 (14P)	2 (13P)	3 (12P)	4 (11P)	5 (10P)	6 (9P)	7 (8P)
8 (7P)	9 (6P)	10 (5P)	11 (4P)	12 (3P)	13 (2P)	14 (1P)

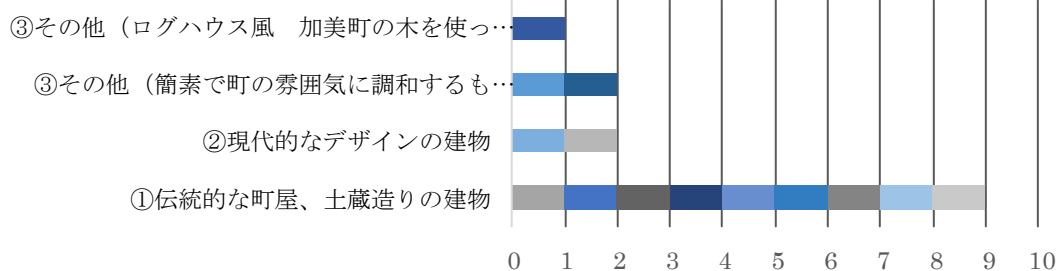
Q1-(2)



- Q2 中新田の商店街に拠点施設をつくるとしたら、どのような様式の建物がよろしいか、①～③の中から1つ選んでください。③を選んだ方は()内にも記載してください。

- ①伝統的な町屋、土蔵造りの建物
 ②現代的なデザインの建物
 ③その他 () ※

Q2



Q 3 中新田地区中心商店街に人を呼び込むための企画や方法について、ご提案があればお聞かせください。（自由記載）

一番の問題は後継者不足だと思います。観光客を呼び込むよりも、若い人も高齢者も住みたくなるような町づくりが大切だと思います。
町内外から来た人達が気軽に立ち寄れるような施設、お茶が飲める（カフェ）又地区の集会が出来る又案内情報発信所、お祭りイベント、フリーマーケット等が出来るような所、自動販売機を置いてドリンク等が自由に飲める機能があればよいと思います。また、町内を歩いて各商店で特徴ある商品を展示しておき販売につなぎ楽しく散策できるようにする。
町と他のイベントを一体として、客を呼ぶセミナーとか他のもの色々
A I 化にまかせるところはまかせて、ここにしかない“物語”をうちだす。なければつくみましょう。
今ある中新田商店街の良さを活かしつつ人を呼び込むためには・・・地酒の三蔵元がある 良質の日本酒は全国レベルで人気。近隣にあゆの里公園運動場があり、週末には町外からも来場者が多い。人気のやくらいリゾートへの通過点として何かアピールできれば。この点を活かすために地酒活性メニューのあるカフェは？
中新田では季節ごとのイベントや、花楽市などが中心商店街で開かれています、その度に各商店は個店の PR がなかなかできていないように思います。それぞれの店の魅力を来場者に伝えられないのではイベントの時だけの賑わいに終わり、更にイベント運営の疲労感だけが残し、活性化に繋がって行かないのではないのでしょうか。既存店の強みや魅力を磨く事、更に魅力的な新しい店を増やすことで人や情報の往来が増えると思います。興味のある人や何かやってみたいと思っている人たちとの橋渡しや繋がりを創れるコミュニティーが必要ではないのでしょうか。空き店舗や空きスペースの活用で新しい人の流れをつくり常に魅力発信や交流が行える拠点があると良いと思います。店舗の絶対数やバラエティ度、そこに住む人々の魅力が商店街の魅力と賑わいにつながるのではないのでしょうか。価格・品揃えなど量販店やコンビニ等にはかないませんので、公共性のある施設の誘致など。以上具体策ではありませんが。
町民が集まる拠点であれば、町外の人にも集まってくると思います。年間（もしくは月間スケジュールを立て）を通じて、催し等の企画を考えてみてはどうかと思います。
・ 駐車場から商店街に行きやすいように工夫する。（役場駐車場） ・ 加美町名物が食べられる（加美町に来たらこれが食べたい！というもの。もしくは新しく名物を作る。食べながら歩けるような手軽なもの） ・ 車が止めやすく美味しいものが食べられて、見る（体験する）ものがあれば中新田の中央にも集まってくると思います。「手軽に」来れて「手軽に食べられる」という部分がポイントかも。
火伏の虎舞を核としたまちづくりが良いと思う。
加美町カレンダーにある様な、町の自然、特産の時期に合ったイベントを行う。この時期に加美町に行けば、何が買えるというように明確化（購買者の意識）をつけてもらえるようなイベントを行う。また、自主的にイベントを行いたい人にある一定のルールを決めて誰もがイベントを行なえるようにしていく。公民館の建て替え、陶芸の里スポーツ公園の改修、カヌー場（オリパラ関連）改修など、今後費用のかかる事業が多いため建設費をおさえた有効に使えるものとする事を望みます。

Q 4 本日の視察をととして、商店街の拠点施設についての感想やご意見をお聞かせください。（自由記載）※視察研修会参加者のみ

今回視察したところはどちらも規模が大きすぎてそのまま取り入れたいようなものはありませんでしたが、部分的には参考になりました。あったらいいなと思ったのは、町屋物語館では、真ん中の風の広場や、中で出店ができるようなスペース（長いベンチがあったところ）コンサートができる多目的ホール。オガールでは、オガール広場、アーケードでした。オガールでは住民ファーストのところが良いなと思いました。
拠点施設の運営が非常に厳しいと強く感じた。本当に必要な施設なのか熟慮すべきと改めて感じた。
トイレが近代的でとても良かった。
もりおか町屋物語館は江戸末期～明治時代に建てられた酒蔵を梁や柱など当時のままの木の温もりのあるホールとして、リニューアルされたとても立派な建物の数々。空間と広場の利用ステージ付のイベント広場、フリーマーケット等が出来る事、蔵の間を利用した軒下スペース針を再利用した長いベンチにも感動しました。カフェも利用できます事、くるみソフトクリームに醤油をかけますと一味違う美味しさを味わいました。紫波町オガールは役場、駅が近くにありますので非常に便利だと思います。又あの広大な地にオガールエリアがあります事はいろいろ思うような施設整備が出来ると思いました。加美町拠点施設と規模が大変違うようです。本日はよい視察をさせていただきました。
二カ所とも素晴らしい施設を見学させていただきました。何れも、わが町の今の場所（土地：やません跡地）の利活用では到底すべて実現は不可能な規模で、昨年来の構想を実現化するとこのような施設（街）が出来るとな夢の様な視察でした。実際あの敷地で考える時に希望とする施設的なものを考え箱物を建てると、いろんな意味でコンパクトになるような気がしてならない。必要と思われる観光案内所等は住民バス等併用できる既存の施設で賄える気がする。跡地活用に関しては、雨天時でも祭り等が出来るようなドーム的な屋根の部分と子供に限らず楽しめる芝生を張ったポケットパークのようなものしか発想できませんでした。やはり商店街のにぎわいをと考える時に、各々の商店が本気で集客を考えないと、どこへの援助も中途半端になってしまう？今回の視察で町・企業・町民（商店街当事者）が意思を統一して本気で取り組んだ結果の成功例を見せられた。そんな研修地でした。
今日の規模の大きさに驚きました。当地区もあの 1/10 のものであれば良いと思います。
生きる余裕がないのがいま、これから余裕がふえるのかさらにへるのか、ふえる方にかけてみたい。オガールでかたいフランスパンを買った。これは中新田にはまだない。
「もりおか」と「オガール」は対照的でした。 もりおか…その他の歴史を大切にしたいという思いが施設のいたるところに感じられました。規模は違っても中新田にも同じように歴史や先人の思いを反映できると思いました。
今回の視察場所そのものは現状の中新田商店街の拠点としては規模が大きすぎました。しかし、施設にある機能の中にはあったらいいなと思うものもあり、それらが商店街の中に点在しているのもいいかな？と。 フリースペース・広場・休憩所・ミニホール・ミニスタジオなど1か所に集中しているよりも広範囲に点在していれば人の流れがより生まれるのでは？

Ⅲ．主な経過等について

中新田商店街活性化拠点整備推進委員会

第1回 平成30年 5月17日

委嘱状交付 委員長、副委員長の選任

中新田地区商店街活性化拠点施設整備推進委員会について

今後の進め方について

第2回 平成30年 6月26日

拠点整備の基本方針について（施設の整備内容、管理運営など）

第3回 平成30年 8月29日

施設の整備内容、管理運営について、施設整備の先進地視察の検討について

第4回 平成30年10月16日

先進地視察 岩手県盛岡市「もりおか町屋物語館」、紫波町「オガール紫波」

第5回 平成31年 2月26日

提案書のとりまとめについて

IV. 中新田地区商店街活性化拠点整備推進委員会設置要綱

中新田地区商店街活性化拠点整備推進委員会設置要綱

(設置目的)

第1条 中新田地区中心商店街の活性化を目的として、域内の活動人口、関係人口、交流人口を増大させる施設の整備を推進するため、中新田地区商店街活性化拠点整備推進委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次の事項について検討する。

- (1) 中新田地区商店街拠点施設（以下「拠点施設」という。）の内容及び使途に関すること。
- (2) 拠点施設の企画運営についての提案に関すること。
- (3) その他、中新田地区商店街の活性化に必要と認める事項に関すること。

(組織)

第3条 委員会は、各種団体等15名以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、町長が委嘱する。

- (1) 中新田地区各商店会
- (2) 加美商工会青年部中新田支部
- (3) 中新田地区商店街にぎわいづくり委員会
- (4) 加美町区長会中新田支部
- (5) 加美町子ども・子育て会議
- (6) 中新田老壮会
- (7) 加美町社会教育委員会議
- (8) その他町長が必要と認める者

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

2 委員長及び副委員長は、委員の互選によって定める。

3 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときはその職務を代理する。

(任期)

第5条 委員の任期は、委嘱状交付の日から平成31年3月31日とする。ただし、補欠の委員の任期は前任者の残任期間とする。

(会議)

第6条 委員会の会議（以下「会議」という。）は、委員長が招集する。

2 委員長は、会議の議長となる。

3 会議は、委員の半数以上の出席がなければ開くことができない。

4 委員長は、会議に必要があると認めたときは、委員以外の者の出席を求め、その説明又は意見を聴くことができる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、商工観光課において処理する。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成30年4月27日から施行する。

V. 視察研修の様子

岩手県盛岡市「もりおか町屋物語館・鉤屋町界限」





紫波町「オガール紫波（紫波町情報交流館・オガール広場）」



